

令和8年3月30日

精華町議会

議長 岡本 篤 様

予算決算常任委員会

委員長 森田 喜久

(公 印 省 略)

予算決算常任委員会審査報告書

本委員会に付託された事件は、審査の結果次のとおり決定したので、会議規則第80条の規定により報告します。

記

事件の番号	件 名	審査の結果
議案第 2 号	令和7年度精華町一般会計補正予算（第8号）について	原案可決
議案第 3 号	令和7年度精華町介護保険事業特別会計補正予算（第5号）について	原案可決
議案第 4 号	令和8年度精華町一般会計予算について	原案可決
議案第 5 号	令和8年度精華町国民健康保険事業特別会計予算について	原案可決
議案第 6 号	令和8年度精華町後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
議案第 7 号	令和8年度精華町介護保険事業特別会計予算について	原案可決
議案第 8 号	令和8年度精華町国民健康保険病院事業特別会計予算について	原案可決

議案第 9 号	令和 8 年度精華町水道事業特別会計予算について	原案可決
議案第 10 号	令和 8 年度精華町公共下水道事業特別会計予算について	原案可決

議案第 4 号 令和 8 年度精華町一般会計予算について

【委員会の意見】

1. N E T 1 1 9 緊急通報システムの登録者増に向けて、関係各課と連携して利用対象者への働きかけを進めること。
2. 消防・救急車両や消防団車両及び資機材等は、町民の安全安心な生活に不可欠なものであるので、計画的に更新を進めること。
3. 令和 8 年度に建替を予定していない旧耐震の集会所 5 か所について、建替に向けた取組を進めること。
4. 令和 7 年度定例会 6 月会議で採択された「飼い主不明猫の避妊・去勢手術費等補助金制度導入を求める請願」の趣旨に基づき、飼い主不明猫の対策事業の早期導入に向けて取り組むこと。
5. プラスチックごみ及びCO2排出量の削減のため、マイボトル持参運動や、公共施設等へ安全管理に配慮した給水スポットの設置を進めること。
6. 災害時や非常時を見据えて、エッセンシャルワーカー（ゴミ収集職員、消防士、保健師、保育士等）の確保に努めるとともに、職員に必要な資格取得・技能習得については計画的に行うこと。
7. 今後ますます増加していく高齢者に関わる福祉施策については、既存の事業を継続していくことも大切であるが、高齢者の居場所の確保、及び生きがいを持って活動できる新規事業を検討すること。
8. 特産品開発推進支援事業における地域資源総合管理センター「華工房」の在り方について、コンサルティング会社等との連携により、抜本的な改革を行うなど、六次産業化に向けた取組を進めること。
9. 道路反射鏡の新設・更新や定期点検を計画的に進めるとともに、路面表示の補修、歩道の草木伐採や危険箇所の解消に努めるなど、道路の安全確保に総合的に取り組むこと。
10. 町営住宅の維持管理及び建替のための移転については、入居者の意向を十分考慮するとともに、早期の建替に努めること。
11. 本町の教育環境整備については、少子高齢化や新規住宅開発等の環境変化、そして次期学習指導要領の改定を踏まえ、地域との連携を図りつつ、丁寧な議論を重ね、より良い教育環境となるよう努めること。
12. I C T を活用した教育環境整備を進める中で、児童・生徒のSNSトラブルや有害コンテンツへの対策として、デジタル・シティズンシップ教育や情報モラル教育のさらなる推進を図ること。

【委員会での討論】

◀ 反対討論 ▶

- 次の4点の理由により、本議案に反対する。

1点目は、非核・平和都市宣言を行う本町の責任の問題である。

アメリカのトランプ大統領によるベネズエラやイランへの主権侵害攻撃に対して、日本政府は国際法を守るようにと、毅然とした抗議の意思を示さず、逆にアメリカとの軍事同盟を強める立場から、自衛隊基地における弾薬庫の増強とミサイル配備を進めている。

特に、自衛隊基地の中でも最大の弾薬庫である祝園弾薬庫へ、長距離ミサイルや核兵器の持込みの疑惑が指摘されており、非核・平和都市宣言を行う本町としては、軍事基地化に反対し、平和外交を積極的に進めることが求められるが、その責任を果たしていない。

2点目は、PFASの問題である。

発がん性がある高濃度のPFASの問題は、国や府に対策を求めることは大事なことである。

しかし、国や府の対応を待つことなく、住民の命と健康のために町が主体的に取り組むべきであるが、現在の姿勢は極めて消極的である。

3点目は、震災対策の問題である。

2030年代に発生が予想される東南海地震や、それ以前に発生すると思われる内陸直下型地震を間近に控え、耐震改修等事業費の補助制度が遅れていること、また、避難場所である集会所において、旧耐震のものが4つも残されている問題、さらには、祝園弾薬庫の中に活断層があることが複数の政府機関でも実証されているが、調査をせずに存在しないとする防衛省に対して、町は抗議すらしていないことは問題である。

4点目は、地域経済の問題である。

企業誘致によって税収が増え、町財政は向上しているが、農業も含めた産業全体の循環型経済への発展という視点や、異常な物価高の中において住民の福祉や暮らしに還元する姿勢が弱い。

税収が増えているのであれば、それを住民に還元すべきである。

◀ 賛成討論 ▶

- 令和8年度一般会計予算案は総額が204億2000万円と、昨年度を20億5000万円上回る過去最大の予算規模となり、学研都市精華町の将来を見据え、自立のまちの実現に向けた積極的な投資が盛り込まれた予算であると受け止める。

とりわけ令和8年度においては、杉浦町長の2期目公約に掲げておられる打越台防災受援・文化スポーツ施設やJR下狛駅前暫定広場の整備のほか、子供はまちの宝であるとの考えのもと、小中学校体育館への空調設備の整備や誰でも通園制度の実施をはじめ、小・中学校給食の完全無償化や高校卒業までの子供の医療費助成の堅持など、「こどもを守る町」宣言の理念を踏まえた予算が多く盛り込まれていることを高く評

価する。

町長公約の具現化と、第6次総合計画の着実な推進による本町のさらなる発展に向けて、将来を革新する予算として編成されており、本議案に賛成する。

- 令和8年度一般会計予算案は、過去最大の204億2000万円となり、未来を革新する予算として、第6次総合計画の着実な推進に向けて、変化に柔軟かつ機動的に対応する積極的な歳出予算として評価する。

また、国の政策や制度改正を的確に捉え、DX、GXの推進、子育てや教育環境への投資など、国の方針に沿った具体的な取組が予算に盛り込まれており、持続可能な地域社会の実現に向けた意欲を感じ取れる予算となっている。

しかしながら、財政的な課題として、収支不足を基金からの繰入れに依存して財政構造が硬直化することを懸念する。

令和8年度末の債務残高は176億4600万円と増加が見込まれ、基金残高は5億8600万円と大幅に減少する予定であり、この状況は、財政の持続可能性に対する懸念を強める要因となる。

最近の物価高や賃金水準の上昇に伴う経常的経費の増加、公共施設の老朽化対策、防災・減災対策の強化など、財政需要が増加する中、長期的財政健全化のためには課題を残すことになる。

この点について、町民に対して十分な説明を行い、理解を得ながら適正な予算執行に努めることを指摘し、本議案に賛成する。

議案第5号 令和8年度精華町国民健康保険事業特別会計予算について

【委員会での討論】

《 反対討論 》

- 民生教育常任委員会で、議案第14号精華町国民健康保険税条例一部改正について審査した際、子ども・子育て支援金分の課税に関して、子育て支援の財源を低所得者が多い国保税から徴収することに同意できないこと、また、国の責任で、財源を確保して実施すべきであるという理由で反対したため、本議案に反対する。

《 賛成討論 》

なし

議案第6号 令和8年度精華町後期高齢者医療特別会計予算について

【委員会での討論】

《 反対討論 》

- 保険料の算定は、京都府後期高齢者医療広域連合で決定したことで、直接、本町が責任を負うことではないが、2年に1回、後期高齢者の負担が増えていくということについては、制度当初から問題点として指摘してきた。

結果として、後期高齢者の負担が増加し、さまざまな面で高齢者の負担が多い情勢

の中で、保険料の引上げについて納得できないため、本議案に反対する。

《 賛成討論 》

なし

議案第7号 令和8年度精華町介護保険事業特別会計予算について

【委員会での討論】

《 反対討論 》

- 民生教育常任委員会で、議案第16号精華町介護保険条例一部改正について審査した際、個人住民税に係る給与所得控除の最低保障額の引上げに伴い、保険料段階が下がって非課税世帯となる被保険者について、該当する被保険者には令和8年度から適用すべきであるという理由で反対をした。

同様の理由から、本議案に反対する。

《 賛成討論 》

なし